

ペプトン/イーストエキス —
 無機塩類 —
 発色物質混合物 —

4. 応急措置

皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を石けん水で十分に洗い流す。
 目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗い流す。

5. 火災時の措置

消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。
 使ってはならない消火剤 : 特になし
 特定の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際は、必要に応じて適切な保護具を着用する。
 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
 回収、中和 : 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策 : 皮膚などに付けないように、必要に応じて適切な保護具を着用する。
 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
 注意事項 : みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取扱う。
 保管
 適切な保管条件 : 容器は密栓して冷蔵保存する。(2-8℃)
 安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。
 管理濃度 : 設定されていない
 許容濃度
 日本産業衛生学会 (2016年度版) : 設定されていない
 ACGIH (2015年度版) : 設定されていない
 保護具
 呼吸器用の保護具 : 特に必要ない。
 手の保護具 : 不浸透性保護手袋
 眼の保護具 : 必要に応じて保護眼鏡を着用する。
 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣 (長袖作業衣)、保護長靴、保護服等

9. 物理的及び化学的性質

形状 : ゲル状

	固体
色	: 無色-白色
臭い	: わずかな特異臭
pH	: 中性
沸点	: 分解
融点	: 分解
密度	: データなし
溶解性	
溶媒に対する溶解性	: 水 ; 可溶

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常条件で安定である。
反応性	: 酸化剤と接触すると反応することがある。
避けるべき条件	: 日光、熱
混触危険物質	: 酸化剤
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口 : 区分外 経皮 : データ不足のため分類できない 吸入 (蒸気) : データ不足のため分類できない 吸入 (粉塵・ミスト) : データ不足のため分類できない
皮膚腐食性・刺激性	: 区分外 皮膚に対する刺激性はない。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: データ不足のため分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性 : データ不足のため分類できない 皮膚感作性 : データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない
発がん性	: データ不足のため分類できない
生殖毒性	: データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露	: データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露	: データ不足のため分類できない
吸引性呼吸器有害性	: データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性	: 水生毒性 (急性) : データ不足のため分類できない 水生毒性 (慢性) : データ不足のため分類できない
残留性/分解性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 残余物は、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
使用済みものは、121℃、20分で高圧滅菌した後、都道府県知事の許可を得た廃棄物業者に委託処理をする。

14. 輸送上の注意

国内規制 適用法令なし
国連分類 : 分類基準に該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 非該当

16. その他の情報

引用文献 化学大辞典 共立出版社 (1963)
16817の化学商品、化学工業日報社 (2017)

*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の見取り紙を対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しており、JIS Z7250:2010に基づいて作成した製品安全データシート(MSDS)と記載事項は同一です。